

第126号

こんにちは

# みささ議会です

令和3(2021)年

10月号



## 主な内容

- 9月定例会・一般会計決算を審査… 2～3
- 常任委員会で慎重審査 …………… 4～5
- 議員4人が一般質問 …………… 6～10
- 議案の賛否 …………… 11
- 大好きみささ町 …………… 12

## 運行開始

(みささサンサンバス)

# 一般会計決算審査特別委員会

9月13日に一般会計決算審査特別委員会（松原茂隆委員長）を開催しました。この委員会は5名の委員で構成され、総務教育・産業民生常任委員会で審査した一般会計決算の内容を、さらに細かく審査するものです。その結果、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

## 令和2年度一般会計決算を認定

### 不妊治療費助成事業

**問** 特定不妊治療に要する医療費は高額である。助成制度はあるものの、複数回の治療となると自己負担も多額となる。昨今の少子化の現状も踏まえ、町として助成額の増額を検討すべき。

**答** 現在、本町の助成額は県内でも一番高い金額となっているが、今後、保険適用の範囲の見直し等も予定されていることから、状況を見ながら引き続き検討していきたい。

### タクシー助成事業

**問** 現在のタクシー助成の対象は、要介護認定者と75歳以上の高齢者世帯の者となっているが、それ以外の高齢者にあっても助成が必要なケースも想定される。対象者の拡充が必要ではないか。

**答** 高齢者交通費助成事業には「バス定期券助成」と「タクシー助成」があり、バス利用が困難な方にはタクシー助成を活用いただいている。しかし、バスが走っていない集落やバス停が遠い集落等の課題もあるため、今年10月から実施する地域公共交通（みささサンサンバス）の運行と併せ、町全体の地域公共交通の問題として整理し検討を進めていきたい。

### アグリツーリズム推進事業

**問** 当事業により「観光農園のトイレ整備」を実施されているが、本来、同事業は「農山村地域に滞在し、その地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」の意味である。本町にとっても重要なテーマであることから、本来の目的達成に向けて事業内容を検討し実施すべきである。

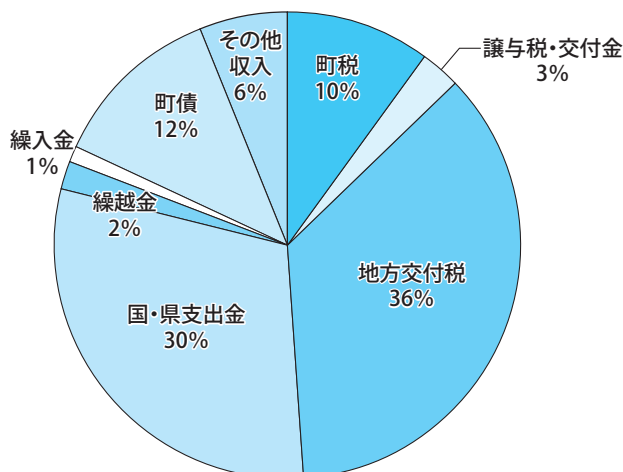
**答** 昨年度の事業については、観光客からの要望も踏まえ、頑張っている農家への支援の意味も含め取り組んだものである。今後については、関係団体や農家等とも十分に協議し、事業化が可能な部分から取り組みを進めていきたい。

### 直売所魅力アップ事業

**問** 直売所出荷農家支援（機械導入）は、どのような審査基準に基づき支援が決定されたものか、確認したい。

**答** 機械導入支援は、直売所の出荷に前向きに取り組む農家の支援として行ったものであり、補助上限を50万円とし、定植機、管理機、トンネルハウス等の整備を対象事業とし、補助要綱により審査を行ったものである。なお、補助対象事業については、3年間の目標計画に沿った直売所への出荷実績を確認することとしている。

### 【歳入】 64億8,299万円



歳入内訳		(万円)
町	税	61,814
譲与税・交付金		20,356
地方交付税		232,989
国・県支出金		195,329
繰越金		15,606
繰入金		5,346
町債		79,999
その他収入		36,860
計		648,299



農産物直売所 三朝おひさま市

### 地域協議会パワーアップ交付金

- 問** 昨年度はコロナ禍により多くの予定事業が中止され、交付金を翌年度の事業経費として積み立てているものと思われる。本来、補助金や交付金は使わなければ返却すべきものであることから、その主旨に沿った制度に見直すべき。
- 答** 交付金の事業期間は原則1年間であることから、制度運用のあり方等について再検討し、地域協議会とも協議していきたい。また、決算説明資料の記載方法についても、運営費、事業費等、見える化する工夫を検討していきたい。

### ブロック塀改修事業補助金

- 問** 危険ブロック塀の改修は、早急に対応すべき重要課題である。令和元年度から令和4年度までの事業であるが、なかなか進んでいないのが実情である。町民の安心、安全な生活環境を整えるためにも、町の積極的な指導が必要。
- 答** 対象となっている29件のうち、令和2年度末までで15件の改修が終わっている。所有者の諸事情もあるが、改めて対象者に対しての指導や、補助制度の周知を進めていきたい。

歳出内訳	(万円)
議会費	7,742
総務費	212,939
民生費	138,451
衛生費	20,155
農林水産業費	50,502
商工費	25,212
土木費	29,132
消防費	15,090
教育費	43,474
公債費	49,584
災害復旧費	790
諸支出金	42,270
計	635,341

### 赤ちゃん誕生お祝い事業

- 問** 赤ちゃん誕生のお祝いに、ごみ袋をプレゼントしているが、他町に比べてあまりにも魅力がなく、若者の定住にも繋がっていない。お祝い金制度を創設するなど、抜本的な見直しが必要である。
- 答** これまで様々な贈り物に取り組んできた結果、実用的な物として、令和元年度以降、現在の形になっている。今後も、若者の定住に繋がるような総合的な目線で検討していきたい。

### 保育所費（保育所運営費）

- 問** みささこども園を直営で継続することとなった現在、竹田保育園存続の必要性が薄くなっている。保育所の再編を含め、竹田保育園のあり方について、早急に検討を進める必要がある。
- 答** 町内の出生数の状況を鑑み、早急に対応を考えるべきだと認識している。今年度中に方向性を出すことを目指したい。

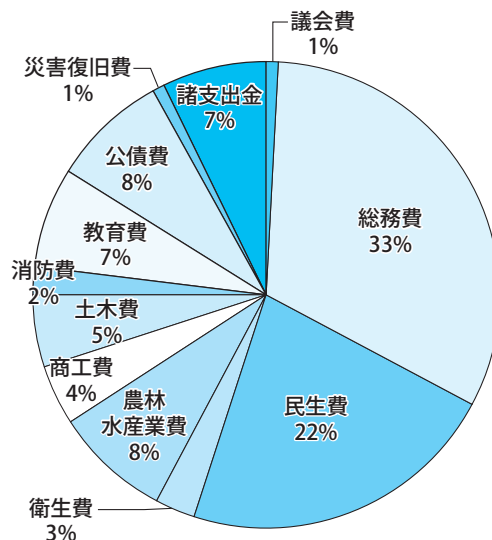


竹田保育園

### 国民宿舎（ブランナールみささ）

- 問** ブランナールみささの指定管理の契約満了まで残り半年となった。今後の対応について、具体的にどのように進めようとしているのか。
- 答** 売却を基本として指定管理者と交渉するつもりである。最低でもブランナールの火を消すことがないよう交渉したいと考えている。

### 【歳出】 63億5,341万円



# 常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

## 総務教育常任委員会

### 防災無線の基地局増設・整備

**問** 穴鴨基地局が増設されたのは以前から調子が悪かったのか。

**答** 令和元年度からの計画だった。穴鴨区には基地局がなく曹源寺と下西谷の電波を拾っていたため状況が悪かった。

**問** 基地局への落雷で補正予算が上がっているが、避雷針などの対策はどうか。

**答** 三朝高原や中津など地形上必要な箇所には避雷針及び避雷器を設置しているが、許容量を超えた場合は破損する。

**意** 落雷で破損したでは防災無線にならないので検討されたい。

### 防火水槽工事中止の対応

**問** 中止となり途中止めで費用が発生した片柴地内の新設工事はどうするのか。事前調査でわからなかったのか。

**答** 大量の湧水と代替地も困難で中止したが、代替地が確保できれば協議を進める。事前調査等は高額のため行わない。

**問** 対策工法の説明では再施工可能なようだが、人命に係ることであり対応すべき。

**答** 対策工法はあるが協議を進めてみないとはっきりしない。



国民宿舎 ブランナルみささ

### 国民宿舎の売却

**問** 「ブランナルみささ」の指定管理期間終了後は売却の手ごたえはあるのか。

**答** 協議を進めたいが緊急事態宣言下での訪問・交渉が難しい状況にある。

**問** 建物の評価の進捗はどうか。

**答** 未着手だが交渉と併せて実施する準備はできている。

### 新型コロナワクチン接種

**問** 12歳から15歳の接種率が低いようだが、対策はあるのか。

**答** 特に対策は取っていないが、7月終わりに接種券を発送し、個別接種、医療機関接種を推奨する文書も入れたので関心は持っていただいていると思う。

**問** 65歳以上で1割ほどが未接種だが意向確認はどうか。

**答** 75歳以上の高齢者世帯には電話や訪問で確認済み。その他は訪問や電話の機会に確認している。

### 特定不妊治療費助成事業

**問** 年齢制限はあるのか。

**答** 本町では年齢制限はない。

**問** 実績や出産の状況はどうか。

**答** 特定不妊治療の申請が4組あり、2件が妊娠出産に至った。

### 高齢者の支援事業

**問** 75歳以下で独居、体調も悪く運転できない、医療費も高額などの場合に支援する事業はあるのか、どこに相談するのか。

**答** 介護認定は65歳を過ぎていれば申請できる。支援制度の相談は健康福祉課で、介護は地域包括支援センターで対応する。

### 学力アップ土曜学習事業

**問** バームクーヘンを作ったとあるが学力アップとは違わないか。

**答** 小学生は町内の素晴らしさを体験させるなどがメインの目的であり、令和3年度からは社会教育課で事業計画をおこなう。

### 日本遺産の再審査

**問** 日本遺産の再審査にむけた状況はどうか。

**答** 9月に新たな地域活性化計画の再提出に向けて準備を進めている。



日本遺産の町内看板

## 産業民生常任委員会

## 被災鳥獣防護柵の修繕費補助

**問** 鳥獣防護柵の修繕補助は、補助で設置したものでないと対象にはならないのか。予算の都合で対象とならず、複数人で金を出し合って設置したのもあり、対象とすべきではないか。

**答** 複数人で設置された防護柵で補助対象とならなかったものについては、申請状況を見て判断していこうと思う。

## 真砂土採取予定地について

**問** 本泉の真砂土採取予定地は中学校の通学路に近いが、学校、教育委員会と相談して遺漏の無いようにされたい。

**答** 事前協議の段階から、中学校の自転車通学路でもあり、教育委員会を通して校長とも安全確保について協議している。



通学路付近

## 三徳山投入堂遥拝所建設について

**問** 三徳山投入堂遥拝所は、土地は三朝町が購入し、建物は鳥取県が建設することになるのか。

**答** 土地購入や分筆は三朝町が行い、舗装、造成、建物は鳥取県が行う。



現在の投入堂遥拝所

## 赤ちゃん誕生祝いについて

**問** 三朝町では赤ちゃん誕生時にごみ袋を渡しているが、他町のように赤ちゃん誕生祝い金制度を設ける必要があるのではないか。

**答** 先ずは若い人に三朝町を選んで住んでもらうことが重要であり、その辺から全体的に考えていきたい。

## 三朝の山を好きになる木育事業

**問** 子どもたちによる植樹が一過性の事業になってしまい、その後の管理がされていない。維持管理を含めた継続した活動に繋げていくことが必要ではないか。

**答** 現状は継続的な事業となっていない。下刈り等も必要な状況もあり、継続的に関わる内容を検討していきたい。

## 鳥取県植樹祭のその後について

**問** 鳥取県植樹祭で植樹事業を行ったところであるが、7月の大雨で埋まってしまう、植樹祭の成果が見えなくなっている。

**答** 状況は気になっている。捕植について考えたい。

## 三朝町ホームページ管理について

**問** 三朝町が色々やった結果等をホームページに載せていますと言う例が多いが、町民のアクセスがどの程度なのか。町報等で高齢者にも分かり易い方法で報告してもらいたい。

**答** ご指摘を踏まえ、見てもらえるようにデータ分析にも取り組みたい。町報でも目立たせる工夫、あるいは他の広報媒体を使つての周知を視野に改善を検討したい。

## 7月豪雨の災害報告について

**問** 集落の災害報告の受付は締め切ったのか。

**答** 7月豪雨災害の国費分の報告は終わっており、今後見つかった分については状況を見ながら判断する。県費分は11月末までに連絡があれば現地確認の上対象とする予定で、農業用施設が対象。



土砂流出の現場

# 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

# あなたの声を 町政に

4人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限  
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
7	1 日常の買い物をどう支えるか 2 日本遺産再審査について	松原 成利
8	1 高齢者支援について	山田 道治
9	1 集中豪雨災害への対応について 2 松浦町政4年間の足跡を問う	山口 博
10	1 日本遺産の現状について	松原 茂隆

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。  
(10:00～、18:00～)

## 生活

## 問 日常の買い物をどう支えるか

答 外出できる環境整備に取り組む

本町に適した手段を選び  
事業支援や委託を行うべき

## 松原

移動販売、通信販売、買物送迎、買物代行から本町に適した手段を選び、事業支援や委託を行うべきではないか。

## 町長

町内には採算性から、移動販売や買物代行の事業者がないが、参入意向の事業者はあるようなので色々な補助制度を活用し、できる支援から進めたい。

今年度からショッピングサービス事業を社会福祉協議会に委託し、3集落で取り組んでいる。

「みささサンサンバス」を  
町内全域に広げる考えは

## 松原

移動手段として期待できる「みささサンサンバス」に注目しているが、成功させて町内全域に広げるべきではないか。

## 町長

サンサンバスで買い物に出かけていただくことは、時間に余裕があるお年寄りには一つの効果的方法であり、運行しながら取り組みたい。バス停に近いお店では、迎える営業の形が出てくるのではないかと。



松原 成利 議員

高齢者福祉計画・介護保険  
事業計画での扱いは

## 松原

高齢者の買い物支援の項目は、具体的に示されていないが、何をどのようにするのか。

## 町長

大きな枠組みでの目標との位置付けであり、詳細については毎年度の予算の中で事業方針、実際に行動をしていくことになる。



みささサンサンバスに期待

## 観光

## 問 日本遺産は所管変更をすべきでは

答 関わる仕組みは見直しをおこなう

再審査となった影響をどう  
考えるか

## 松原

再審査対象となったことは、インターネット上の関連記事や写真等で掲載されており、残念なレッテルを貼られたようで風評被害等が心配されるが、その影響と見直しはどう考えるか。

## 町長

観光客への影響は新型コロナで人の動きが止まり分かりかねるが、課題がクローズアップされ、これまでの取組みを振り返ることで危機感が生まれた。

現地調査をされると聞いており、しっかり説明することが重要と考えている。

日本遺産は観光交流課に所  
管変更すべきではないか

## 松原

文化庁は、世界遺産は「遺産の保護」、日本遺産は「遺産の活用」と目的を分けており、日本遺産の担当は社会教育課から観光交流課に所管変更するべきではないかと。

## 町長

民間と連携して活用する視点が弱いとされたところであり、新た

な計画は観光交流課、社会教育課、企画課でプロジェクトチームを立ち上げ、県と<sup>(\*)</sup>DMOも加わってもらって作成しており、関わる仕組みは見直していく。

※ DMO とは

当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人

## 問 新しいケアシステムの構築を

答 検討してみたい

### 多様な問題が深刻化する

山田

2025年頃には医療・介護などの社会保障費や認知症高齢者の増加等、多様な問題が一気に深刻化する。労働力・人口の激減もあるが、この状況をどう思うか。

町長

中長期的な生活支援の手立ては早い段階で考える必要がある。

### 一人ぼっちな解消を

山田

ホームヘルパーさんが一人暮らしの家を訪問すると、話し相手が必要だと言われる。何らかの支援がある。

町長

人とつながるといことが高齢者にとって非常に大事なことで、どういう形であろうと支援していく必要はある。

### グループリビング等が要る

山田

近年自治体が<sup>(\*)</sup>グループリビングの建設・運営に乗り出すケースが徐々に増えている。グループリビングやコミュニティホームなどは介護予防につながると考えられる。三朝町として取り組んではどうか。

町長

実現には多くのハードルを越えなければならない。利用者の意向などの調査も必要だ。一人ひとりの思いを大切にしながら、安心して暮らせるシステムとして検討してみたい。

※グループリビングとは

高齢者が住み慣れた地域で共同生活を営む小規模在宅型の共同住宅



山田 道治 議員

### 地域資源の活用で

山田

鳥取県南部町にコミュニティホームがある。空き民家を利用して、昼間の高齢者の居場所作りが行われている。介護保険の利用料の軽減につながっている。大きな苦しみを持った高齢者を支援するため、三朝町も地域資源を利用した新しいケアシステムの構築が必要だ。

町長

学ぶべきところは多くある。三朝町も以前からケアシステムを作るべきだと思っている。関わっておられる地域の方々といろんなイメージを作っていくところから始め、町の福祉が前進するよう努力したい。



仲間と楽しく



南部町のコミュニティホーム



## 災害対策

## 問 災害復旧事業の地元負担軽減策を

答 高齢化の進む中、集落規模の差への配慮を検討

## 復旧工事等の地元負担の軽減策を

山口

高齢化・人口減により、小規模集落では復旧工事費の地元負担が重くのしかかる。地元負担の軽減等の救済ルールが必要ではないか。

町長

多額の地元負担となる場合は考慮していく必要がある。

## 地元負担金の分割支払いの検討を

山口

地元負担金の支払いは一括支払いとなっているとのことであるが、多額に上る場合は分割で支払える方法等の検討が必要ではないか。

町長

町の制度として考えることとなるもので現時点では、気持ちを理解させていただく。



用水路土砂流出

## 政策

## 問 町長のこの4年間とこれからの思いは

答 コロナ禍の影響を克服し計画的な政策の実行を

## 新町長として過ごしたこの4年間の感想は

山口

町長として過ごした一期目4年間の感想は。

町長

コンパクトな町でありながら元気で躍進する町を目指し、第11次総合計画を策定、小学校統合、光ケーブル化等に取り組めた。

## 次期に向けての思いは

山口

これからの4年間、三朝はすごいと言われる提案が必要では。

町長

これまでやってきたことをベースに、前向きに施策を進めていくことが大切と考えている。



山口 博 議員

## 自力復旧と業者復旧の不公平感解消のルールが必要では

山口

業者復旧の小規模集落と自力復旧の大規模集落では不公平感があり、支援の在り方の検討が必要だ。

町長

高齢化が進む小規模集落と比較的大規模集落では対応力に差があり、支援の在り方について検討が必要と考える。

## 渓泉閣前河川敷駐車場の復旧はなぜ同じこと繰り返すのか

山口

大水の度に流され、多くの金をかけて同じ構造で復旧しているが、税金の無駄遣いと多くの町民が思っている。町はなぜそのような復旧とするのか。

町長

災害復旧は原則、原形復旧であるが、舗装止めのコンクリートを強化する方向で申請したい。



渓泉閣前

## 問 日本遺産の現状は

答 地域活性化計画の再提出に向け全力を傾注



松原 茂隆 議員

### 認定後、6年間の実績を問う

松原

平成27年に本町の三徳山と三朝温泉のストーリー性が高評価を受け国の日本遺産に認定されたが、今回の再審では再審査の対象となった。これまでの取り組みに対し、その実績を問う。

町長

日本遺産の認定以降、文化庁の日本遺産推進事業を活用し、人材育成や普及啓発事業をはじめ、調査研究事業、情報コンテンツ事業等に取り組んできたが、今回の審査では、日本遺産を活用した地域活性化の取り組みに対して指摘を受けており、今後はさらにその取り組みを推進していく必要があると考えている。

### 避けたい認定取消し

松原

仮にはあるが、今回の再審査において、日本遺産の認定が取消しとなった場合には、どのような影響があると考えているのか。

町長

イメージダウンは避けられないと危惧しているが、今、一番大事なことは、国に向けて論点を整理し、本町が誇る六根清浄と六感治癒のストーリーを構成メンバーと共に訴えていくこと、そして、そのことを具体的に示す地域活性化計画書の策定に向けて全力を傾注することであると考えている。

### 計画実現のための体制づくりが必要

松原

日本遺産の活用推進に向けては、地域活性化計画を実現していくためのリーダー的存在となる体制整備が必要と思う。

町長

御指摘のとおり。現在、活用推進のための体制づくりを再構築する協議を進めており、近日中に、新たな体制として、仮称・三朝町日本遺産活用推進協議会を設立することとしている。

### 今後3年間の地域活性化計画は

松原

再審査では、今後3年間の地域活性化計画の提出が求められているが、具体的な方針を伺う。

町長

一つには日本遺産の活用推進に向けた組織体制の見直しを行うこととしている。また、広域連携やマーケティング調査による経済の循環、さらなる人材育成や情報発信、体験プログラムの事業化等々を柱としながら、具体的事業計画として整理している段階である。



日本遺産パンフレット



日本遺産活用推進協議会設立総会の様子

## 【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順） 議案名	松原	松原	石田	吉田	山口	藤井	遠藤	福田	平井	山田	牧田	清水	結果
		成利	茂隆	恭二	道明	博	克孝	勝太郎	茂樹	満博	道治	武文	成眞	
(8月臨時会)														
町長提出議案名														
45	専決処分の承認について（令和3年度一般会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	令和3年度三朝町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	否決
(9月定例会)														
町長提出議案名														
48	令和3年度三朝町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	令和3年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	令和3年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	令和3年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	令和3年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	令和3年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	令和3年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	令和3年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	令和2年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
57 ～ 66	令和2年度三朝町特別会計歳入歳出決算の認定について（10件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
67	三朝町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
68	三朝町過疎地域持続的発展計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案名														
6	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。※清水成眞議長を除く11名の賛否状況です。

## 【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	[新しい提案] 実行委員会 全国青年司法書士協議会	不採択	国政上我が国の安全保障にかかわる問題であり、一地方議会が言及すべき内容ではない。
新型コロナ禍による米危機の改善を求める陳情	鳥取県農民運動連合会	採択 意見書提出	米の需給環境の改善や米価下落の歯止め等、早急に解決すべき問題である。

## 「3年間の人権学習をととして」

私たちは、中学校の3年間でたくさんの人権について学ぶ機会がありました。毎年、6月には「いじめ撲滅宣言」の学習を行い、「クラスごとのいじめ撲滅宣言」を作成します。9月から10月にかけては、人権作文を書きます。自分が普段感じている人権問題をテーマにして一人ひとりが書き、それをグループや学級、学年で共有します。このような取組の中で、障がいのある人に関する問題、高齢者に関する問題、インターネット上での問題、新型コロナウイルス感染症による差別や偏見などの問題など、さまざまな人権問題について考えを深めました。考えるだけでなく、これらの問題を無くすための取組やそのために私たちに何ができるのかを学び、実際に行動にうつしてきました。

その集大成として、現在、人権啓発ムービーを3年生全員で制作しています。これまで学習してきた内容を取り入れながら、3年間の成長を描くスト



三朝中学校3年  
谷本 祥実 長安 梓紗 佐崎 尚香

リーとなっています。私たち3人は、その脚本を担当しました。その他の役割である監督、撮影、編集、出演、音響なども全て生徒だけで行います。これは、11月に開催する校内文化祭で上映しますが、昨年と同様、新型コロナウイルスの影響により、会場は入場制限となり多くの方は当日入ることができません。

しかし、今年はこのムービーがNCNで放送される予定です。ぜひ、その機会に私たちの作品を見ていただき、差別や人権問題について一緒に考えていきましょう。

## 議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

### 12月定例会の日程予定（案）

会期 12月9日～12月17日  
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。  
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

## ～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

発行責任者  
議長 清水 成眞  
編集  
議会広報常任委員会  
委員長 松原 成利  
副委員長 藤井 克孝  
委員 山口 博  
委員 平井 満博  
委員 石田 恭二

この4年間お読みいただきありがとうございます。  
（山口 博 記）  
この4年間、私たち議会広報委員会は皆さまにお読みいただける「議会だより」づくりに努力してまいりました。

何時終息を迎えるのか出口の見えない、国難と言われる新型コロナウイルス感染症。鳥取県内の感染者は全国でも少なく、このまま続いていると期待していましたが、残念ながら最近毎日感染者が発生しています。  
日本では二万七千人以上の死者を数え、世界での死者は四百七十六万人以上に上っています。  
一日も早い終息を願わずにはいられません。  
さて、私たち町議会議員は4年間の任期をこの十一月に終えます。

